

今年度の新たな取り組みについて（教科担任制の導入）

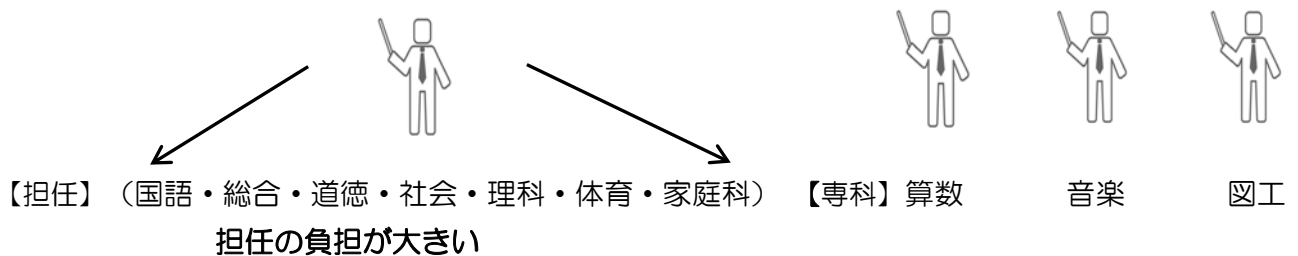
6月29日（土） 読売新聞多摩版で教科担任制が記事になりました。



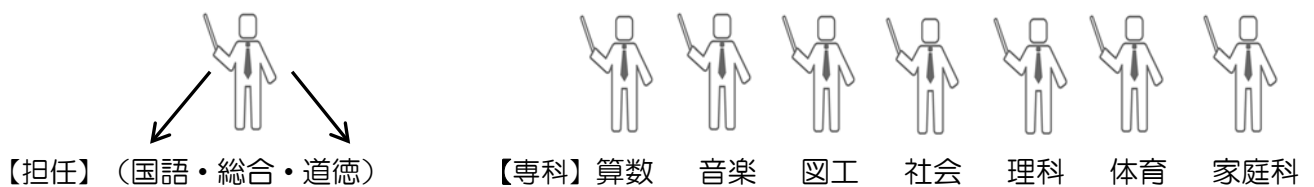
国立第四小学校では、高学年（五年生・六年生）におきまして、教科担任制を導入いたしました。その目的に関しましては、下記①～⑥にまとめて記載いたしましたので、お読みください。

【高学年 教科担任制のシステムについて】

☆昨年度までの指導体制



☆今年度の指導体制



多くの教員が一つの学級に指導に入る。多くの教員で見守り育てていくことが可能。
指導の充実・徹底を図る。

① 教員の得意分野を生かした授業を展開し、どの学級でも質が高く、均一な授業実践を行い、学力の向上を図る。

(重要かつ最大の目的)

② 多くの教員が児童に関わることで、児童一人一人の良さや課題を理解するとともに、児童の実態に応じた指導を行う。

(現在は1学級4人の教員が、教科担任制では最大7人の教員で指導)

③ 意図的・計画的に授業を行う。

(適切な教育課程の管理運営)

④ 教材研究や授業の準備等の効率化を図るとともに、評価の信頼性を高める。

(評価の統一・信頼性)

⑤ 高学年全体で取り組むことにより、児童理解のための意見交換を活発に行い、校内における生活指導の充実・安定を図る。

(生活指導の充実)

⑥ 教科担任制の形態に慣れることで、中学校へのスムーズな移行を図る。

(中一ギャップへの対応)